

## 企 画 提 案 書

企画書	
タイトル	大学・地域連携フォーラム～SDGs×大学×地域～（仮称）
テーマ	持続可能な地域づくり・社会づくりのため研究発表会
日時	2018年12月12日（水）13時～16時
会場	沖縄セルラーパーク那覇 大会議室 F
■ 概要	<p>■ 企画立案の背景にある課題意識</p> <p>課題①：大学で研究されている内容がオープンになっておらず、市町村などの事業に取り入れられている事例が少ない</p> <p>課題②：大学と市町村、民間企業が交流する機会が少ない</p>
	<p>■ 上記課題に対する仮説</p> <p>大学で研究されている内容を市町村の課題解決に反映することで、様々な課題が解決されるのではないか？市町村と大学が交流する機会が必要である</p>
	<p>■ 課題に対する解決方法</p> <p>県内の大学教授による研究発表や実証実験のデモなどを一般向けに実施し、市町村職員や民間企業の方々との交流の場を作る</p>
	<p>■ 取り組み内容</p> <p>①大学の研究成果や経過を発表する</p> <p>②研究内容と市町村職員・企業の分野をマッチングする</p> <p>③大学・市町村職員・企業が参加するワークショップの開催</p>
■ 詳細	<p>&lt;基本情報&gt;</p> <p>日時：2018年12月12日（水）13時～16時（オキナワベンチャーマーケット内）</p> <p>場所：沖縄セルラーパーク那覇 オキナワベンチャーマーケット内</p> <p>人数：研究発表者名 5～8 程度、市町村職員 41 名（各市町村から 1 名）、企業 30 名程度</p> <p>内容：第 1 部：研究者による研究事例紹介、実証実験、デモプレイなど（ポスターセッション）</p> <p>第 2 部：マッチングのためのワークショップ</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>第 1 部：ミニプレゼン（15 分×5 名）</p> <p>名 称：沖縄大学×関東学院大学「沖縄創生まじゅんプロジェクト」</p> <p>発表者：プロジェクトコーディネーター 平良斗星</p> <p>内 容：関東学院大学と沖縄大学による連携プロジェクトで、相互に国内留学しながら、自治体や企業と連携し、沖縄の魅力発信、地域振興に寄与するための学びを展開するものです。</p> <p>参 考：<a href="http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/index.php/ja/home/news/news/2147-okinawa.html">http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/index.php/ja/home/news/news/2147-okinawa.html</a></p> <p>名 称：沖縄国際大学「VR 等を活用したプログラミング教育」</p> <p>発表者：沖縄国際大学 産業情報学部 産業情報学科 小渡悟 准教授</p> <p>内 容：小渡氏が研究及び活動をしているプログラミング教育について、子どもや学生へのプログラミング教育をどのように進めていくかを発表します。</p> <p>参 考：<a href="http://www.okiu.ac.jp/teacher/sodo/profile.html">http://www.okiu.ac.jp/teacher/sodo/profile.html</a></p>

名 称：琉球大学「花いっぱい運動プロジェクト」

発表者：琉球大学 農学部 本村恵二 教授

内 容：本事業のワーキンググループとしても取り組んでいる、花いっぱい運動プロジェクトについてカンナやクワンソウ等の話を踏まえて発表します。

名 称：沖縄キリスト教学院大学「県知事選での大学生向け主権者教育」

発表者：沖縄キリスト教学院大学 人文学部 英語コミュニケーション学科 玉城直美 准教授

内 容：今回の県知事選において、琉球新報社と大学生と協働で選挙について若者が考えるプロジェクトを行いました。今回はこのプロジェクトについたため発表します。

参 考：[https://www.ocjc.ac.jp/faculty/naomi\\_tamashiro.pdf](https://www.ocjc.ac.jp/faculty/naomi_tamashiro.pdf)

参 考：<https://ryukyushimpo.jp/special/entry-802232.html>

名 称：沖縄女子短期大学「産業界、他大学との共同研究プロジェクト（2件）」

発表者：沖縄女子短期大学 産学連携推進室 産学連携コーディネーター 比嘉勇太

内 容：「親子プログラミング講座の実践を通じた効果的なプログラミング教育のあり方に関する共同研究」や岐阜女子大学との共同研究「大学間で開発した地域教材をタブレット端末等の ICT 教育機器で授業実践する有効性及び教育効果についての実践研究」について発表します。

## 第 2 部

県職員、市町村職員や企業と研究者が解決したい課題や興味のある分野、従事している分野で マッチングする機会を設ける